

おぐら

● 広報



— いってらっしゃ〜い! —

小国町漁業組合（渡部春昭組合長）が叶水小学校1年生4人の協力を得て、7月16日、サクラマスの稚魚を叶水地区内の横川に放流しました。バケツにたくさんの稚魚を入れてもらった子どもたちは、大喜びしながら、水辺まではこび、「元気に育てね」と声をかけながら放流すると、1万匹の稚魚が群れをつくって泳ぎだしていました。

2019

8

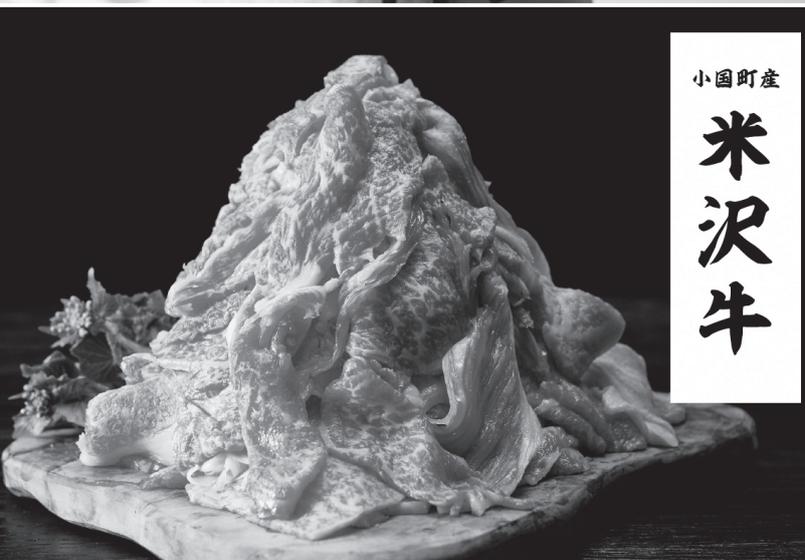
No.778

応援したいと思う気持ちを形に ～ふるさと納税を活用した持続可能なまちづくり～

▼きのこ屋のきまぐれ・デトックスきのこセット



▼つる細工



小国町産

米沢牛



▲米沢牛切落し

を紹介します。

受入状況や活用方法など
納税制度と本町における
ます。今月は、ふるさと
適合する形で運用してい
ついては国が示す基準に
入しており、返礼品等に
度当初からこの制度を導
た。本町では、平成20年
られる仕組みとなりまし
合にのみ税額控除が受け
にふるさと納税をした場
国の指定を受けた自治体
より、制度改正が行われ、
返礼品競争の過熱などに
から11年が経過した今年、
さと納税制度」。制度開始
ようと創設された「ふる
地方の税込格差を是正し
平成20年度に首都圏と

▲羽前桜川 大吟醸「雫」

平成20年度に首都圏と
地方の税込格差を是正し
ようと創設された「ふる
さと納税制度」。制度開始
から11年が経過した今年、
返礼品競争の過熱などに
より、制度改正が行われ、
国の指定を受けた自治体
にふるさと納税をした場
合にのみ税額控除が受け
られる仕組みとなりまし
た。本町では、平成20年
度当初からこの制度を導
入しており、返礼品等に
ついては国が示す基準に
適合する形で運用してい
ます。今月は、ふるさと
納税制度と本町における
受入状況や活用方法など
を紹介します。

ふるさと納税制度

ふるさと納税は、平成20年4月30日に「地方税法等の一部を改正する法律」が公布され始まった制度です。

都道府県または市区町村にふるさと納税（寄附）をすること、寄附金のうち2000円を超える部分について、一定の上限まで、原則として所得税・個人住民税からその全額が控除される仕組みになっています。

こうした制度ができた背景には、多くの人が地方で生まれ、大人になるまでその自治体から医療や教育などさまざまな住民サービスを受けて育ちますが、進学や就職を機に生活の場を生まれ育った地方とは別の首都圏などの都市部に移し、そこで住民税等の納税を行っています。

この結果、首都圏など都市部の自治体は多くの税収を得ることができず、自分が生まれ育ったふるさと自治体には税

収が入らない形となっていました。そうした中で、「都会に住んでいても『ふるさと』を応援したい」、「○○町に貢献したい」という納税者の思いを実現するために創設されたのがふるさと納税制度です。

ふるさと納税は、自分が生まれ育ったふるさとに限らず、全国各地この自治体にも寄附ができる仕組みとなっており、自分の意思で応援したい自治体を選ぶことが可能です。

各自治体では、ふるさと納税に関する考え方や集まった寄附金の使い道などについては、ホームページ等で公開しているため、そうした情報から応援したい自治体や事業を選んでふるさと納税をすることが可能になっています。

ワンストップ特例制度

平成27年4月1日からは、「ふるさと納税ワンストップ特例制度」が創設されました。これは、

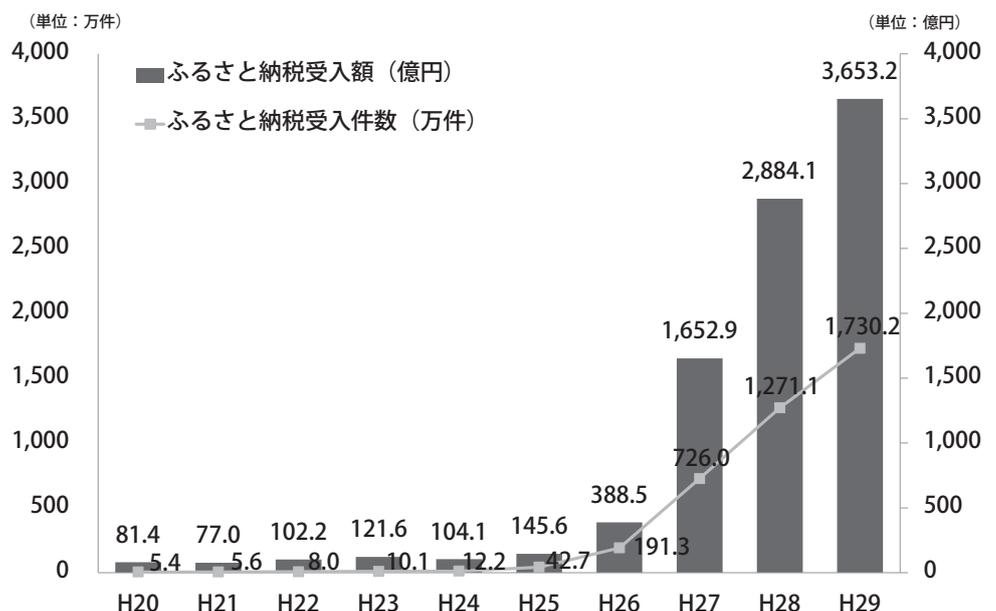
従来確定申告が不要な給与所得者がふるさと納税制度を利用するためには、確定申告を行う必要があったものを、5団体以内

に行うふるさと納税であれば、各自治体に特例の適用に関する申請を行うことで、確定申告をせずに住民税の寄附金税額控除を受けられることとなりました。

こうした制度

を導入するとともに、ふるさと納税枠が2倍に拡充されたことにより、平成27年度以降、全国的にふるさと納税の件数と金額が、ともに大幅に増加しています。

総務省の調べで、ふるさと納



▲日本全体におけるふるさと納税の件数および金額の推移

税制度開始当初の平成20年度に全国で5万4千件、81億4千万円だったふるさと納税が、平成29年度には1730万2千件、金額にして3653億2千万円となっており年々増加している状況にあります。

寄附控除の例

年収500万円、独身または共働き（配偶者の給与収入が201万円超）のかたが5万円をふるさと納税（寄附）した場合

ふるさと納税 50,000円

所得税および住民税からの控除額 48,000円

自己負担 2,000円

所得税からの控除分は、その年の所得税から戻ります。
住民税からの控除分は、翌年の住民税が減額されます。
※控除額は世帯構成や給与収入等によって変わります。上記はあくまで一例です。

ふるさと納税では控除上限内であれば実質負担額は2,000円

昨年度の寄付金額は

過去最高の7千万円超え

本町でも、平成20年度からふるさと納税制度を導入してきました。当初は、返礼品を設けずに、寄附金を受け入れていましたが、平成27年度に町内事業者等から地場産品の募集を行い、寄附者に対する返礼品を開始しました。

返礼品を開始した時期が、国の制度改正の時期と重なったこともあり、本町における受入件数および受入金額については平成27年度以降、増加傾向にあります。また、平成29年度には、白い森まるごとブランドプロジェクトメンバーのかたが中心となって、町内産品を組み合わせた返礼品のセット商品のラインナップを考案し、提案の中から町内事業者等が実現可能なものについて、返礼品として商品化し、提供しています。そして、昨年度からはふるさと納税を受け付けるインターネ

ットサイトを1つから3つに増やし、納税者の利便性の向上を図ったところ、前年比、受入件数で約2.5倍の3154件、受入金額では4倍以上となる7235万5千円のふるさと納税による寄附金がありました。

ふるさと納税について、一部ネットショッピング化したことを受け、国では今年3月に制度改正を行い、ふるさと納税の対象となる自治体を総務大臣が指定することとしました。本町は返礼品を始めた当初から地場産品に限り取り扱っており、新制度に適合していることから引き続き指定を受けています。

寄附者からの心温まる 応援メッセージ

ふるさと納税サイトを通して

年度	件数 (件)	金額 (円)	備考
H20	15	1,570,000	返礼品なし
H21	19	620,000	//
H22	11	465,000	//
H23	8	420,000	//
H24	12	730,000	//
H25	12	340,000	//
H26	19	430,000	//
H27	1,183	17,326,000	返礼品開始
H28	1,177	16,958,000	
H29	1,239	16,959,000	
H30	3,154	72,353,000	

▲本町におけるふるさと納税受入実績

小国町が開設している ふるさと納税サイト

小国町では、ふるさと納税の受付を「ふるさとチョイス」と「楽天」、「さとふる」の3つのサイトで行っています。返礼品には町内の特産品等を取り揃えていますので、ぜひ、ご覧ください。



ふるさとチョイス



楽天



さとふる



▲ふるさと納税返礼品の一例 ①たかきびジェラートセット②おぐにの菓子詰め合わせセット③木工品
④お肌ぶるぶる！おぐにやまがた地鶏コラーゲンセット

本町に寄附をしたかたがたから寄せられたコメントの中には、「小国町に住んでいました。ファンです。」や「若い頃小国町の山、川で何回も遊ばせていただきました。美しい小国の地を応援しています。」「娘がお世話になった小国町。関西からも応援しています。」「雪深い町、人情があり風情もある町。小国町が大好きです！」「小国町は第二の故郷です。応援しています。」など、実にさまざまなお肌ぶるぶる！おぐにやまがた地鶏コラーゲンセットをいただいたかたが、数ある自治体の中から本町を選んで寄附をいただいています。

生産者の思いあふれる おぐに独自の返礼品

本町の返礼品は、本町で飼育される米沢牛や山形牛のほか、地酒、町内で生産される米や山菜、お菓子など現在では約60種類の返礼品を取り揃えています。中には、形ある品物だけでなく、実際に本町を訪れていただくために、各種ツアーなどを返礼品

に設けるとともに、本町に実家や土地があるかたのために、墓地の清掃サービスや空き家・空き地管理などのサービスも返礼品として準備しています。

返礼品のひとつとして「キノコ菌床セット」を提供していますが、この生産・取り扱いを行っている農事組合法人きんたけ工房の渡邊拓磨さん（樽口）は、「きんたけ工房としてもキノコの栽培セットの販売をはじめようと思つていたところで、取り扱い説明書を作ったこともきつ



▲渡邊拓磨さん（きんたけ工房キクラゲ栽培ハウス内）



▲キノコ栽培セットのイメージ

かけで、その一番最初の取り組みとしてふるさと納税の返礼品に栽培セットを出しました。キノコ栽培の方法は、取り扱い説明書の文章だけではなかなか理解していただけないこともあって、メールや電話で連絡をくださるかたもいて、ふるさと納税の返礼品で、こうしたつながりや交流が生まれるんだと感じました。現在はキクラゲの菌床を中心に送っていますが、キクラ

ゲの栽培自体が確立したのが6〜7年前なので、それをふるさと納税の返礼品として、栽培セットを提供しているのも、我々だけなんじゃないでしょうか。栽培セットならば、大きなハウスもいりませんし、どんな環境でも作れるというのが強みですね。今では、町内の小学生の自由研究に使いたいという人もいて、ふるさと納税もそうですが、さまざま活動を通して、キノコ栽培やキノコそのものを身近に感じてもらえるきっかけになればいいなと思っています。」と話してくださいました。

また、米や小国では珍しいイチゴを返礼品に提供しているハートランドファーム(小国地産株式会社)で、ネットショップの運営管理などを行っている渡部梢さん(岩井沢)は、「当社では現在、オリジナルブランドの雪芽(ゆめ)いちごや米のほか、啓扇桜、大豆、アスパラなどの栽培を行っています。ふるさと納税には、米とイチゴを提

供していますが、イチゴは収量にもばらつきがあり、生の果物ということもあって、受付期間が限られてしまいますが、通年で提供できる米は思っていたよりも選んでいただけたのかなと感じています。当社では、ネット販売も行っているのですが、ふるさと納税をきっかけにして、小国でもイチゴをつくっていると、いうことを知っていただくことも、に、地産地消ももちろん大事ですが、全国どこでもつながられるネットの強みを生かして、遠く離れたところの人にも当社



▲ハートランドファームの雪芽いちご

の商品を選んでいただけるようになればいいなと思います。今年、雪若丸の作付も行っているのですが、来年以降そうした商品もふるさと納税などに提供していければと考えています。」と話してくださいました。

ふるさと納税者の 思いに応えるために

ふるさと納税制度によって、毎年全国各地の小国町応援者から多くの寄附が寄せられています。本町では、平成29年度までは、ご希望のあった使途に当該年度の一般財源として、ふるさと納税の寄附金を活用していましたが、本町を応援する多様な人々の思いが反映された町施策を推進するため、平成30年3月に「小国町白い森ふるさと応援基金」を設置し、ふるさと納税制度を活用した事業の透明性と的確性を確保していくこととしました。

今年度は、ふるさと納税の寄附金を、主に次のような事業に



▲昨年実施された第1回全国高等学校小規模校サミット

活用しています。

○保小中高一貫教育支援事業

(小国高校支援関連経費)

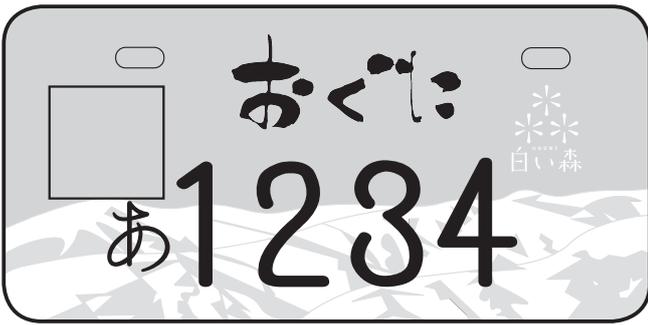
保小中高一貫教育の促進は、最高学府である小国高校の存在がなくては完成しえないものであり、地域活力の源として小国高校の存在意義も非常に大きいことから、小国高校が実施しているアメリカへの修学旅行への支援や英字新聞の配置、全国高等学校小規模校サミットなど小国高校の独自で魅力ある取り組みに対して支援を行っています。

○ご当地ナンバー交付事業

白い森ブランドを町内外にアピールするため、軽自動車(原動機付き自転車50cc以下の車両)の標識のご当地ナンバーを作成しています。

○地域資源活用域学連携事業

都市部の大学生と町民の交流連携・協働により、外部の若者の視点や大学の専門的知見を活用しながら地域課題の解決に取り組む事業で、当初は主に地域資源の調査や活用に関する提案を行ってきましたが、昨年度か



▲今年度作成したご当地ナンバー(イメージ画像)デザインは旧小玉川小中学校を拠点に活動しているstudioこぐまの吉田真理さんが担当した
※交付は10月からを予定しています。

ら住民と大学生4〜5人のチームで、地域が抱える課題を整理し、その解決策を考案・実践する新たな取り組みに移行しています。

この事業を経験した学生の多くが、卒業後も本町との関わりを持ちながら小国のファンとして熊まつりや雪の学校などの各種イベントで活躍しているほか、多くのかたがふるさと納税で応援してくれています。

この他、消防団員の装備品拡充や自主防災組織の資機材整備に係る支援など各種事業にふるさと納税の寄附金を活用しながら事業を展開しています。

持続可能な

まちづくりのために

返礼品競争の過熱などによって、多くの人が認知することとなったふるさと納税。年々寄付金額が増え続けてきましたが、国による制度改正によって過度な返礼品等が規制され、ふるさと納税制度本来の趣旨である、

生まれ育った地域や自らが応援したいと思う地域に対する寄附が重視されることとなりました。

人口減少や少子高齢化が進む地方の自治体にとって、年々税収が減少する中で、ふるさと納税による寄附金は、それまでなかった財源であり、それぞれの自治体が寄附者の思いを反映しながら自由に使うことができるお金になります。本町でも、年々増加しているふるさと納税による寄附金を、どのような事業に活用して、寄附者はもとより町民のためのまちづくりにつなげていけるかが大きなポイントとなっています。

寄附者の中には繰り返し本町を選んでふるさと納税をしてくださるかたも多くいます。町に住んではいなくとも、遠くから本町を思いふるさと納税という形で応援してくれるかたがたの思いにこたえるためにも、町ではふるさと納税を効果的に活用しながら、持続可能なまちづくりを展開していきます。



河川清掃

町内各河川を町民が協力して清掃

令和元年度河川清掃が、7月7日、町内の8河川13カ所で行われました。これは、美しい水辺を守ろうと、県民河川・海岸愛護デーに合わせて毎年実施しているものです。

河川清掃の当日には、朝早くから各地区の清掃場所で多くの住民のかたがたが参加して、川岸に生い茂った草の刈り払いをしたり、空き缶やビニールなどのゴミを拾ったりし、町内の河川環境をきれいにしました。



飯豊連峰山形県側山開き

今シーズンの安全を祈願して

飯豊連峰の山形県側山開きが、7月6日、飯豊山荘で行われ、関係者や登山客など約50人が参加し、今シーズンの安全を祈願しました。

翌7日には、梶川、石転び沢出合、倉手山の3コースに分かれて山開き登山が行われ、県内外から24人が参加しました。

参加者は、多くの雪が残る飯豊連峰の雄大な自然の中での登山を楽しみました。

第6回沖庭地区レクリエーションスポーツ大会

地区内の親睦を深める

第6回沖庭地区レクリエーションスポーツ大会が、6月30日、旧沖庭小学校の体育館等で開催され、地区内の子どもからお年寄りまで約70人の住民たちが参加しました。これは、閉校校舎を活用して、地区住民が触れあえる場所を設けようと実行委員会が主催しているものです。

大会では、健康吹き矢やカロリング、輪投げなど5種目が行われ、スポーツを通して地区内の幅広い年代のかたがたが親睦を深めていました。



子育て講座「絵画製作」

親子でオリジナルバッグづくり

子育て支援センター（おぐに保育園内）で、7月4日、旧小玉川小中学校をアトリエにして活動を展開するstudioこぐまの吉田真理さんを講師に招いて、子育て講座「絵画製作」が行われました。

この日は、さまざまな形の消しゴムを使って、布用絵具で無地のトートバックに自分の思い描く模様や文字などをデザインし、親子で協力しながら、自分だけのオリジナルバッグをつくっていました。



子供を犯罪被害から守るための対策協議会

7人を子ども見守り活動推進員に委嘱

子供を犯罪被害から守るための対策協議会が、7月4日、おぐに開発総合センターで開催され、7人のかたを小国町子ども見守り活動推進員に委嘱しました。これは、昨年新潟県での女子児童殺害事件等を受けて、小国警察署と町教育委員会が中心となり防犯団体等と連携しながら、通学路における子どもたちの見守り活動を強化するため組織されたものです。今後は、推進員を中心に登下校時における子どもたちの見守り活動を展開することとしています。

「みんなで完歩！白い森ハーフ縦断」

地域おこし協力隊

よしだ ゆうと
吉田 悠斗

7月6日出朝6時に梅花皮荘に集合して、白い森ハーフ縦断が決行されました。このイベントの企画者は地域おこし協力隊の根本俊輔さんです。小国高校の生徒や先生を合わせて22人が参加しました。梅花皮荘を出発した後、樽口峠、百子沢を経由して午後6時過ぎ、27kmの道のりを経て小国高校にゴールしました。普段車で通る道は、歩くともまた違った景色を見せてくれます。そして何よりの力となったのは沿道の方々の応援や差し入れです。道中に足をつったり、お腹が痛くなったりする人が出る中、参加者全員でゴールしたときは大きな達成感がありました。応援にきてくれた皆さん、参加してくれた皆さん、企画・運営してくれた皆さん、ありがとうございました。遊び心をもって小国町のいいところを見つけることの大切さを学びました。



▲小玉川を通過する様子

「高校がある町」

地域おこし協力隊

いわい たくま
岩井 拓磨

7月6日(土)、小国高校生が小国町を歩きました。天気にも恵まれ、涼しい風が私たちの背中を押してくれました。差し入れをくださったかたがた、応援をしてくれたかたがた、ありがとうございました。



▲救護車で伴走する岩井隊員

高校生たちとは事前の打ち合わせから何度か顔を合わせていました。その際の前向きで楽しもうとする姿勢は、懐かしくもあり、見習うべき姿でした。今回のハーフ縦断ではスタッフとして見守る立場でしたが、高校生たちの楽しそうな姿、頑張っている姿を見てたくさんの元気をもらいました。

小規模校サミットでは、小国の魅力を伝えるだけでなく、同じ境遇の仲間を、見聞が広がり今後役に立つだろう。自分が高校生の時はこれほど地域と結びついた活動はありませんでした。私は今回のハーフ縦断で小国高校のファンになりました。生徒や先生、学校全体が前向きで活動的な良い学校だと感じました。また彼らと共に活動が出来ればうれしいです。応援しています。

山の「豊かさ」を伝え継ぐ

④ ゴボツパ

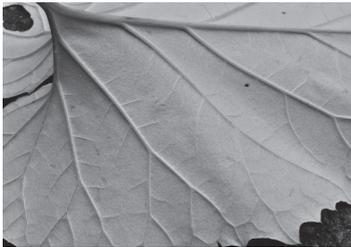
8月に入ると、青々と育った田んぼの稲は出穂(しゅっすい)期を迎え、秋の稔りに向けて小さな花を咲かせます。かつて農薬が普及していなかった頃は、農作物につく害虫を駆逐し秋の豊作を祈る「虫送り」などと呼ばれる行事が、田植え後から初夏の6〜7月頃にかけて各村々でおこなわれていました。

この初夏の時期に採られていた野草の一つにゴボツパ(あるいはゴンボパなどとも呼ばれる)という植物があります。

朝日山地の県境を挟み、隣にあった新潟県旧岩船郡朝日村奥三面集落(昭和60年閉村)。その暮らした歴史をまとめた生活誌『山に生かされた日々―新潟県朝日村奥三面の生活誌』(1984年発行)には次のような村人の語りが載っています。「この虫送りするころに、

大豆播くより早く、ゴボツパ(オヤマボクチ)を採るんさ。ゴボツパは、ゆでてから乾かしてとっておいて、正月に草モチをつくるのに使うはで。それに草モチは、狩りに行くときに持ってゆくしな。これやトチモチは、白いモチより何日か固くなるのがおそいはで。(後略)」

今では草餅というトモギの若葉を入れることが一般的ですが、かつては町内でも草餅の原料としてゴボツパの葉が用いられていました。その名の通りゴボウの葉に似たゴボツパの葉は、下部の大きいものは長さが30センチ近くにものなり、裏面は真っ白い茸毛(じょうもう)と呼ばれる細かな繊維で覆われています。それが、火を起こすときの火口(ほくち)に適していること



▲白い茸毛で覆われた葉の裏



▲ゴボツパ

からオヤマボクチ(雄山火口)という和名がつけられていきます。また、その繊維は粉のつなぎにもなり、北信州などではゴボツパをソバ粉に混ぜて使っている地域もあるようです。

北部地区の荒沢は古くから奥三面集落とも交流の深かった集落です。そこで暮らす山口京子さん(昭和13年生まれ)が、もう何十年も作っていないというゴボツパ餅についてお話を聞か

せてくれました。「採りに行くのはワラビ折りの初めの頃。みな袋持っていて、その袋さいっぱい採ったもんだ。

採ってきたらすぐに広げて干して、そして袋が何かにしまっておくんだな。使うときは、みんな縮まつてるからきれいにゴミとか取って。それから灰汁(あく)水で煮るんだ、ゆっくりと。そして煮たのを杵(きね)でついた。昔は、くず米ってあるべ、米選機で下に落ちたのとか半稔りの米な。そうしたのを石臼(いしうす)で挽いて、それを餅つ



▲乾燥させたゴボツパの葉

干している最中のゴボツパ▶
この後、カラカラになるまで乾燥させ保存しておく。



く臼の下に入れんだ。その上に蒸かした餅米、少し入れて。そこさ草上げて、餅ついたんだ。」
「昔は全部餅米の餅なんてぜいたくだったもの。そうやっていろいろ混ぜて量を増やしたんだな。」と、だんなさんの英彦さん（昭和11年生まれ）が話を継いで説明してくれます。

き、コンビリ（おやつ）で食べたもんだ。確かにあの草餅は固くなりにくかったな。2、3日とそのまま食われたもんだ。（春の）木出しのときも草餅持ってたな。木の上さあがって食い食い。いや、ほんに美味かったな。」と、英彦さんは懐かしそうに話します。

当時は摺（すり）臼で糲摺りをおこなっていましたが、その過程でどうしても碎け米が生じてしまいます。つなぎの効果があるゴボツパを混ぜることで、餅米を少なくし、そうした碎け米を有効に使う餅を作ることができたのです。



▲粉挽き用の石臼
（白い森くらしの資料館所蔵）

そのため米が今ほど穫れなかった頃はゴボツパの葉の需要は高く、同じ北部地区の石滝では口開けの日が決められていました。そのことを教えてくれたのは中野集落の齋藤以智子さん（昭和10年生まれ）です。

「クルミ（の実）と同じで、ゴボツパをみんなで採る日が決まってる、それまでは個人で採られなかったの。いっぺん開いたあと、採るがはいいけど。クルミもぎ（の口開けの日）は一軒の家から二人で決まってるけど、ゴボツパは一人だったんでねえ。ゴボツパなんて軽いもの、いくらでも採られるから、採るだけ採って。クルミは採ってきたら一箇所に全部あけて、

それから目方をかけて、各家で平ら（平等）に分けたんだけど、ゴボツパは採っただけ全部自分のもので持ってきたね。」と齋藤さんは言います。

採取に関して共同の取り決めを設けるほど重宝されていたゴボツパ。しかし、食料事情がよくなるにつれ利用されなくなっていきました。今では草餅を作るにしても、ゴボツパのようなつなぎは必要なく、より近くに生えているヨモギで十分こと足りません。そのようななかにあっても、ゴボツパ利用にみられたような、山野に自生する植物を上手く使うことで暮らしを少しでも「豊か」にしようとしてきた先人たちの精神は忘れずに、受け継いでいきたいものです。

第25回参議院議員通常選挙の結果

第25回参議院議員通常選挙の投開票が、7月21日に行われました。今回の投票率（県選出）は、73.42%で、80.50%だった前回（第24回）と比べ7.08ポイント下回りました。小国町における各候補者並びに政党ごとの得票結果は、次のとおりでした。

【山形県選出議員選挙】

当日有権者数 6,483人 (届け出順)

大 沼 みずほ	2,113票
は が 道 也	2,507票
小野澤 健 至	102票

【比例代表選出議員選挙】

当日有権者数 6,483人 (届け出順)

日本共産党	175.000票
自由民主党	2,118.088票
オリーブの木	18.000票
社会民主党	226.000票
公明党	455.000票
国民民主党	414.906票
日本維新の会	144.000票
幸福実現党	7.000票
立憲民主党	668.004票
労働の解放をめざす労働者党	6.000票
NHKから国民を守る党	67.000票
安楽死制度を考える会	9.000票
れいわ新選組	163.000票

※各政党等の得票数には、名簿登載者の得票数を含む。

プレミアム付商品券事業に関するお知らせ

小国町プレミアム付商品券を使用できる店舗等を募集します

小国町商工会に備え付けしている申込用紙により、事前に登録を行ってください。

- 対象者 町内で事業を行っている個人または法人等
- 申込期間 8月19日(月)～9月6日(金) (ただし土日を除く平日9時～17時まで)
- 問合せ 小国町商工会 (☎62-4146) へ

商品券購入引換券の交付申請について

「非課税のおしらせ」が届いたかたで、10月以降使用できる商品券の購入を希望するかたは、購入引換券の交付申請が必要となります。(8月末までに申請いただいたかたには、9月末頃に購入引換券を交付します)

【窓口で直接申請する場合】

健康管理センター窓口にお越しください。(土日祝日を除く8時30分から17時15分まで)

【返信用封筒に入れて郵送で申請する場合】

必要事項を記載した申請書と商品券の購入を希望するかた全員分の本人確認書類のコピーを同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函してください。(切手は必要ありません。)

※子育て世代の対象者(3歳未満のお子様がいる世帯主)には、別途「商品券購入引換券」を郵送しますので、申請手続きは必要ありません。

- 問合せ 健康福祉課福祉担当 (☎61-1000) へ

入札結果情報 (令和元年6月21日～令和元年7月20日実施)

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期 (完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R1.6.26	令和元年度おぐに保育園西側屋根塗装工事	岩井沢	R1.8.30	8,000,000	小国開発㈱	7,000,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

小国町起業化資金助成金について

- 対象者 町内で起業を行うかたで、6ヵ月以内の開業、開店が可能なかた
- 助成内容
 - ▶個人で起業する場合
補助対象経費の3分の2（上限20万円）
 - ▶法人または3人以上で構成する団体が起業する場合
補助対象経費の3分の2（上限30万円）
- 対象事業 金融保険業、風俗業以外の事業
- 対象経費 事業拠点費（設備費・機械器具費）、商品化促進費、宣伝広告費等
- 問合せ先 産業振興課（☎62-2416）へ

山形県後期高齢者医療広域連合からのお知らせ

歯周疾患検診を受けましょう

山形県後期高齢者医療広域連合では、歯周疾患検診事業を実施しています。今年度の対象になっているかたは、この機会にぜひ受診してください。

- 対象者 昭和18年4月1日から昭和19年3月31日に生まれたかたで、保険証（後期高齢者医療被保険者証）をお持ちのかた（ただし平成30年10月1日～平成31年3月31日までの間に歯科受診歴がある者を除く）
- 実施場所 山形県歯科医師会に所属している歯科医院
- 実施期間 8月1日(木)～12月31日(火)
- 受診料金 無料
- 受診方法 事前に受診する歯科医院に予約してください。その際「山形県後期高齢者医療広域連合の歯周疾患検診」であることをお伝えください。
- 受診時の持ち物 受診券・受診票・保険証
- *対象者には、7月26日付で受診券・受診票等を送付しています。紛失等された場合および不明な点は、下記までお問い合わせください。
- 問合せ先 山形県後期高齢者医療広域連合事業課給付係（☎0237-84-7100）へ

小国町チャレンジショップ 運営支援事業補助金について

- 対象者 町内で新規開業を目的とし、空き店舗（空きテナント含む）を活用してチャレンジショップを出店するかた
- 補助内容 起業を目的とした試験的な飲食業や小売業等を行う際の空き家（空きテナント含む）の賃借料の全額を補助（上限10万円）
- 対象事業 風俗業またはこれに類する事業以外の事業。支店およびフランチャイズ店以外の事業
- 対象経費 賃借料
- その他 本事業は、飲食業や小売業等を始めてみたいというかたに、町が商業スペースの賃借料の補助を行い、起業を支援する取り組みです。
- 問合せ先 産業振興課（☎62-2416）へ

介護資格取得支援事業について

- 助成対象 ①本町に住所を有し、現在も居住しているかた②本年4月1日から令和2年3月31日までに次の①または②の研修課程を修了されたかた（小国町社会福祉協議会が開講する介護職員初任者研修を修了されたかたを除く）
- 助成額
 - ①介護職員初任者研修課程修了者
 - ▶小国高校生または令和元年度中に転入されたかた
受講料全額（上限150,000円）
 - ▶上記以外のかた
受講料の2分の1（上限80,000円）
 - ②介護福祉実務者研修課程修了者
受講料の2分の1（上限100,000円）
- 申請方法 研修課程修了後、健康福祉課に申請してください。
- 必要書類 受講修了証の写し、受講料領収書の写し、印かん、振込先口座番号を確認できるもの
- 問合せ先 健康福祉課（☎61-1000）へ

アスパラガス栽培研修会 ～まず、見て！感じて！圃場見学会～

- 日時 9月4日(水)13:30～
- 集合場所 J A山形おきたま南陽支店駐車場（正面玄関前）（南陽市宮内864）
- 内容 アスパラガス現地圃場の見学と導入に向けての相談等
※栽培実践者、J A指導員、普及指導員、市町担当者をご案内します。
- 対象者 置賜地域内にお住いのアスパラガス栽培に興味のあるかた（年齢不問）
- 問合せ先 J A山形おきたま営農経済部園芸課（☎0238-46-5302）
または西置賜農業技術普及課（☎0238-88-8216）へ



企業の枠を越え、親睦を深める ～ 令和元年度新社会人就職お祝い会 ～

令和元年度小国町新社会人就職お祝い会が、7月7日、森林セラピー基地「ぶなの森温身平」などで行われ、今年の春、町内企業等に就職した新社会人25人が出席しました。これは、町内企業、事業所などへの新卒者の就職促進とともに、町内で働く同世代の仲間との交流を通し、多様な人間関係づくりにつなげてもらおうと平成29年度から町が主催しているものです。

この日は、参加者全員で森林セラピーアテンダントの案内で森林セラピーを体験したほか、参加者同士自己紹介をしたり、仁科町長や山口副町長と意見交換をしたりと、企業等の枠を越えた交流をとおして親睦を深めていました。



大会に出場した選手は、指揮者の指示にあわせ、全員が迎えられました。

この大会は操法技術の向上と団員の士気高揚を図り、有事の際のスムーズな体制確立のために行われています。消防団員のかたは、夜間や休日など仕事の合間に練習を重ねこの日を

日頃の訓練成果を競い合う

令和元年度小国町消防操法大会

令和元年度小国町消防操法大会が、6月30日、西置賜行政組合消防署小国分署で開催されました。

息の合った迅速かつ的確な動作を見せ、これまでの練習の成果を発揮していました。

- 西置賜支部操法大会出場班
- ポンプ車の部
 - 第1位 第1分団第1部第1班(小坂町)
 - 小型ポンプの部
 - 第1位 第8分団第2部第1班(叶水、新股、河原角)
 - 第2位 第6分団第2部第2班(五味沢、石滝)
 - 小型ポンプ積載車の部
 - 第1位 第3分団第1部第2班(東原)

デザインの力で、商品やサービスをより魅力的に！

商品を選ぶとき、魅力的なデザインのものに興味を引きやすく、実際に商品を手にとつて見てもらうことにつながります。また、購入後も印象に残るため、リピート買いにもつながってきます。売れている商品は、商品の自身はもちろんだ、デザイン的にも工夫され、優れていると言えます。

そのため、町では「白い森おぐにクリエイターバンク」を設置し、町内の事業者がデザインの力を活用して、商品やサービスの魅力を向上させるための取り組みをスタートしました。

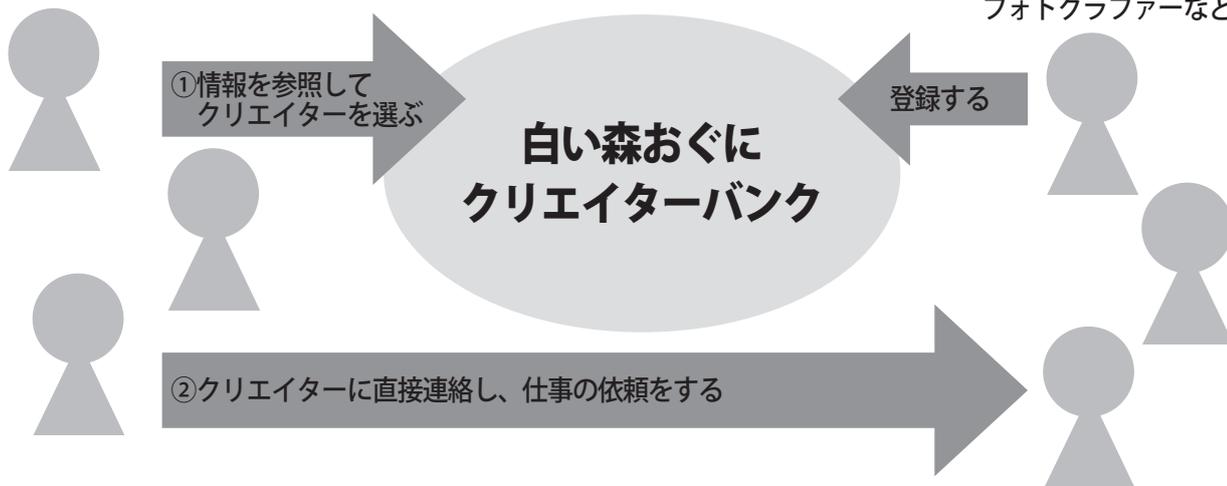
「白い森おぐにクリエイターバンク」とは、町にゆかりのあるデザイナーやコピーライター、フォトグラファーといったさまざまな分野のクリエイターに登録していただき、その情報を町ホームページに掲載するものです。町内の生産者や事業者は、これを活用して個別の相談や仕事の依頼を行うことができます。

あわせて、商品やサービスの付加価値を向上させる事業に対する補助金も、新たに創設しました。

この機会に、商品やサービスのデザインを見直し、白い森ロゴマークも活用しながら新たな魅力づくりに取り組んでみませんか。

Webデザイナー、
コピーライター、
フォトグラファーなど

町内の事業者など



付加価値向上推進補助金について

町内事業者が、商品パッケージのリニューアルや広告媒体の製作など、商品及びサービスのデザイン力や魅力向上等を図って付加価値を高めるための事業を支援します。

■対象事業 クリエイターバンクを活用した付加価値を高めるための事業など 【(例) 新商品のパッケージ製作、飲食店のメニュー表のリニューアル、通販サイトのページリニューアル】

※デザインには白い森ロゴマークを用いるよう努めること

■対象経費 クリエイターへの謝礼、パッケージ印刷費、新聞等の広告宣伝費など

■補助金額 補助対象経費の2分の1以内
(1事業につき10万円が限度)

■問合せ先 総合政策課白い森ブランド戦略室
(☎87-0821) へ



▲町で試験的に制作した白い森米袋

募集

町営住宅入居者募集

①町営住宅小坂町団地

3DK 3戸(1・3・4階)

■家賃 所得と家族構成による

■その他 所得制限あり

②町営住宅あけぼの高齢者団地

1LDK 1戸(1階)

■家賃 所得と家族構成による

■対象

▽世帯所得が21万4千円以下

▽住宅に困っているかた

▽60歳以上のかたで自立した

生活を送ることができ、同

居するかたが配偶者または

60歳以上の親族であること

①②共通

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 8月9日(金)

◎入居時期 8月下旬以降

◎問合先 地域整備課建設管

理室(☎62・2431)へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 8戸

■家賃 所得により決定

■対象 入居世帯の所得制限あり

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期間 8月5日(月)～9日(金)

■入居時期 10月上旬

■申込先 置賜総合支庁西庁

舎(長井市)総合案内窓口

■問合先 県営住宅指定管理者

(株)西王不動産置賜事務所(☎

0238・24・2332)へ

お知らせ

西置賜行政組合

消防職員採用試験

■採用人数

若干名(男女不問)

■受験資格 平成7年4月2

日以降に生まれたかた(救

命救急士の免許資格を有す

る場合は平成2年4月2日

以降に生まれたかた)

※身体及び居住要件あり

■試験日および会場

9月29日(日)

長井市置賜生涯学習プラザ

■試験内容

《1次試験》教養試験(高卒程度)・

適性検査(筆記)・体力試験

《2次試験》作文試験・人物

試験(集団および個別面接)

■受付期間

8月19日(月)～9月13日(金)

※郵送の場合9月13日(金)必着

■申込・問合先 西置賜行政

組合事務局(☎0238・

88・4336)へ

置賜広域行政事務組合

職員採用試験

■募集職種 ①初級行政②初

級機械③初級電気④消防士

■募集人数 ①②③若干名

④4人程度

■受験資格 ①②③平成7年

4月2日から平成14年4月

1日までに生まれたかた④

平成2年4月2日から平成

14年4月1日までに生まれ

たかた

※④は居住要件等あり

■試験日および試験会場

9月29日(日) 置賜広域行政事務

組合千代田クリンセンター

※④の体力試験は9月30日(月)に

米沢市営体育館で行います。

■受付期間

8月19日(月)～9月13日(金)

■申込・問合先 置賜広域行

政事務組合(☎0238・

23・3246)へ

源流の森インタープリター (森の案内人)養成講座

■期日 9月1日(日)

10月27日(日)

■時間 9時15分～16時

■場所 山形県源流の森セン

ター(飯豊町白川ダム上流)

■対象 高校生以上のかたで

森づくり活動やボランティア

活動に興味があるかた

■定員 25人(先着順)

■申込・問合先 置賜総合支

庁森林整備課(☎0238

・35・9053)へ

家庭教育電話相談 ふれあいほっとライン

子育ての悩みを1人で抱えず、相談ください。子どもからの相談にも応じます。

■ふれあいほっとライン

023・630・2876

■開設日 月曜日～金曜日

8時30分～17時15分

■その他 相談員対応時間は

9時から16時15分まで

■問合先 県教育庁文化財・

生涯学習課(☎023・630・2872)へ

8月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■ 4カ月児健診

- ・期 日 8月30日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成31年4月生まれ

■ 1歳児健診

- ・期 日 8月30日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成30年8月生まれ

■ 2歳児歯科健診

- ・期 日 8月21日(水)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 平成28年12月、平成29年1月、2月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■ 8月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要
子育て講座「ヨガ」	8月22日(木)	10:20~11:20・健康管理センター	必要

■対象者 なかよし広場・子育て講座 就学前のお子さんとお家のかた
 ■その他 お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

8月4日(日)	川西 安川歯科クリニック	0238-54-0210
8月11日(日)	米沢 くまの歯科	0238-40-8600
8月12日(月)	南陽 すまいる歯科	0238-43-8143
8月13日(火)	長井 村上歯科クリニック	0238-83-3650
8月14日(水)	南陽 佐藤歯科クリニック	0238-47-2888
8月15日(木)	米沢 もり歯科医院	0238-26-6406
8月18日(日)	米沢 レインボー歯科医院	0238-26-1182
8月25日(日)	高島 八木歯科医院	0238-52-0117

求 人 情 報

右の表は7月19日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
(株)高橋工務店	建設技術者(見習い可)、土木技術者(見習い可)、現場作業員	各2人	8:00~17:00
斎藤建設(株)	一般作業員	2人	8:00~17:00
医療法人社団緑愛会満天の家	介護職(交替制)	1人	6:45~15:45他
(有)三栄自動車工業	自動車整備士	2人	8:30~17:30
(株)山芳工務店	電気設備工	1人	9:00~18:00
安部工業(株)	一般作業員	1人	8:00~17:00
(株)横川建設	配送運転手、営業(見習い可)、事務員、現場管理(1級または2級土木施工管理技士)、作業員、自動車整備工、重機オペレーター見習い	計9人	8:00~17:00
(有)小国技研	ボーリング洗浄工および作業管理補助	4人	8:00~17:00
遠藤建設(株)	一般作業員、土木施工管理技士、重機オペレーター	計4人	8:00~17:00
アクサ生命保険(株)長井オフィス	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ	2人	9:15~16:15他
山和建設(株)	一級土木施工管理技士・一級建築施工管理技士【本社】、二級土木施工管理技士・二級建築施工管理技士【本社】	各3人	8:00~17:00
長谷川工業(株)	マシニングオペレータ	2人	8:30~17:00
荒川興業(株)	製造加工、製造加工【アークカーボン加工】	計5人	8:20~17:10
おぐに白い森(株)	医療事務	1人	8:30~17:15
(株)旭林業	林業技術士・大型運転手	3人	7:30~17:30他
美森ファーム(株)	販売員	1人	8:00~16:00他
(有)白い森よこね物産品直売所	販売および調理スタッフ、清掃員	計3人	8:00~16:00の間の3時間程度

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
 ※町ホームページに求人情報を掲載しています。

今月の納税 2019.8

8月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

● 8月26日(月) 水道料

● 9月2日(月) 町県民税、国民健康保険税・後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

8月の あいイベント 夏休み小学生スポーツ教室



- 日時 8月8日(木)9:30～11:30
- 対象者 小学生
- 持ち物 室内シューズ、飲み物
- 内容 ドッジボール、フットサル
- 参加費 100円
- 申込締切 8月7日(水)

■申込・問合せ先
(☎62-5808)

おぐにYui
スポーツクラブ

相 談

▽年金相談

- 日時 8月21日(水)
10:30～14:00
- 場所 役場
- 対応者 米沢年金事務所職員
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

▽弁護士無料法律相談

- 日時 9月6日(金)
10:00～14:00
- 場所 総合センター
- 対応者 町顧問弁護士
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

さいわい荘盆踊り大会

- 日時 8月11日(日)午後2時50分～ 子どもの部
午後3時30分～ 大人の部
- ※午後3時10分からお子様限定で（小学6年生まで）お菓子のつかみどりを行います。
- 場所 さいわい荘大ホール
- その他 内履きをご持参ください。
- 問合せ先 さいわい荘（☎62-3821）へ



舟渡盆踊り大会のお知らせ

- 町内に帰省されたご家族・ご親戚のかたお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。大抽選会もあります！
- 日時 8月15日(木)18:00～ 子どもの部
19:00～ 大人の部
 - 場所 舟渡活性化センター（公民館）
 - 問合せ先 舟渡公民館 館長 鈴木（☎62-3093）へ

NPO法人With優 出張相談会

- 日時 9月24日(火)10:00～14:00
- 場所 おぐに開発総合センター研修室
- 内容 不登校やひきこもり等の無料相談会です。専門の相談員が学校や就労のことについて、本人やご家族からの相談に対応します。無料の相談会ですが、基本的に予約優先となります。お気軽にお問合せください。
- 問合せ先 NPO法人With優 安達（☎0238-33-9137）へ

総合センター図書室から

- ～新着図書～
- | | |
|-------------|----------|
| ◇シーソーモンスター | 伊坂 幸太郎 |
| ◇検事の信義 | 柚月 裕子 |
| ◇百花 | 川村 元気 |
| ◇おまえの罪を自白しろ | 真保 裕一 |
| ◇思わず考えちゃう | ヨシタケシンスケ |
- 休館日 毎週月曜日・祝日

編集後記

8月は、町民や森におぐに、花火大会（3日）、湖体験（4日）、各地区の盆踊り大会、岩魚つみ大会、みどり大会（14日）、大相撲東関部屋（14日）、国（朝稽古は14日）、18日）、おぐに（16日）などまつり（16日）が盛りだくさんです。昨年までいっしょに写真をとる集金は、今年も私自身、来年は取材に出る機会をいただけたらと思います。

第58回

少年の主張小国地区大会

- 中学生を対象とした少年の主張小国地区大会が、次のとおり開催されます。熱い思いをぜひ会場でお聞きください。
- 日時 9月3日(火)14:30～
 - 場所 小国中学校体育館
 - 問合せ先 小国町防犯協会事務局（町民税務課町民生活担当）（☎62-2260）へ



●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
 ●総務課 (行政管理担当/管財・危機管理担当/財政担当) ☎62-2112 ●総合政策課 ☎62-2264
 ●会計室 ☎62-2406 ●観光経済室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408
 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

(6 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

北 伊 藤 心^の花^か (拓 実
梨 真

北 日 下 も^も花^か (貴 之
こ ころ

小 国 町 井 上 莉^り緒^お (昌 利
か ぼる

結婚おめでとうございます。

(新 潟 県 佐 久 間 隆
太 鼓 沢 安 部 いづみ

おくやみ申し上げます。

東 原 伊 藤 ちよ子 (82)

岩 井 沢 高 力 麻規子 (89)

古 田 木 村 ミ ツ (96)

小国小坂町 丹 成 江 (93)

五味 沢 齋 藤 カヅ子 (80)

緑 町 佐 藤 知 子 (91)

五味 沢 佐 藤 テツ子 (92)

伊 佐 領 高 橋 テ ッ (92)

小 玉 川 志 村 勇 (86)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (令和元年6月30日現在)

人口 男・・・3,714人(－6)
 女・・・3,761人(－10)
 計・・・7,475人(－16)
 世帯数 3,057世帯(－5)

～訂正とおわび～

6月号、7月号の戸籍のまど「おくやみ申し上げます。」欄で掲載をいたしましたお亡くなりになられたかたがたの年齢を誤って2歳少なく掲載しておりました。訂正しておわびいたします。

仕事

vol.15

図鑑

山和建設株式会社

代表者 代表取締役 小山和夫
 従業員数 110人
 所在地 小国町大字町原93番地1
 事業概要 総合建設業、生コン製造販売など

今春、山和建設㈱に入社した片山乃輝(ないき)さん(伊佐領)。片山さんは、高校時に同社で2度の職場体験を経験し、企業説明会では真っ先に同社ブースへ向かったと言い、「職業体験で、普段何気なく通っている道路や橋をいろいろな人が関わりながら作っていることを知り、建設業に興味がわきました。また、先輩社員から話を聞く機会があり、自分がつくったモノに誇りを持っている話を聞いて、私も誇りを持って働きたい!自慢できるようなものを作りたい!」と思い入社しました。普通高校出身のため、分からないことばかりでゼロからのスタートですが、現在は管理技術者の見習いとして、先輩がたと一緒に施工・管理の仕事をしています。先輩がたは優しく、ひとつひとつ丁寧に指導して下さるので、私もそれに応えるため、日々勉強と実践を繰り返しています。今後は、先輩がたのように、後輩にさまざまなことを教えることができる存在になれるよう頑張りたいです。現在就職先を検討しているかたには、ぜひ建設業をお勧めします。ぜひ一度職業体験で経験してほしいですね。」と話してくださいました。

山和建設㈱は、県内の各種工事を施工するほか、現在は福島県や岩手県など県外での工事を受注し、土木工事では県内1位の売上を誇ります。同社には国家資格である一級土木施工管理技士や一級建築施工管理技士などの有資格者が多数在籍し、各機関から工事を高く評価され、多くの表彰も受けています。また、経済産業省から地域経済への影響力が大きく、地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手企業であるとして「地域未来牽引企業」に平成29年に選定されています。同社では、自然と人の和を大切にし、高い技術力と確かな品質で、顧客の多様なニーズに応えています。



▲南陽市のほ場整備現場で測量をする片山乃輝さん

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.4



④ 「長者原発電所」

本町の近代史を語る上では欠かすことのできない建物となっている「長者原発電所」。昭和13年に本町の豊富な水資源に着目した日本電興株式会社が、ここに発電所を建設し、その電力を使って合金鉄の生産を始めたのです。長者原発電所を設計したのは、東京タワーを設計した内藤多仲氏で、町内にあるクアーズテック社寮も同氏が設計した建物です。現在は東北自然エネルギー株式会社が管理をしているこの発電所は、飯豊連峰の登り口でもある温身平から取水し、長者原付近まで水を引っ張り、山の高低差によって発電をしています。本町の産業基盤を確立するきっかけとなったこの建物を後世にも残していきたいものです。